取扱説明書　さざなみライト ACタイプ

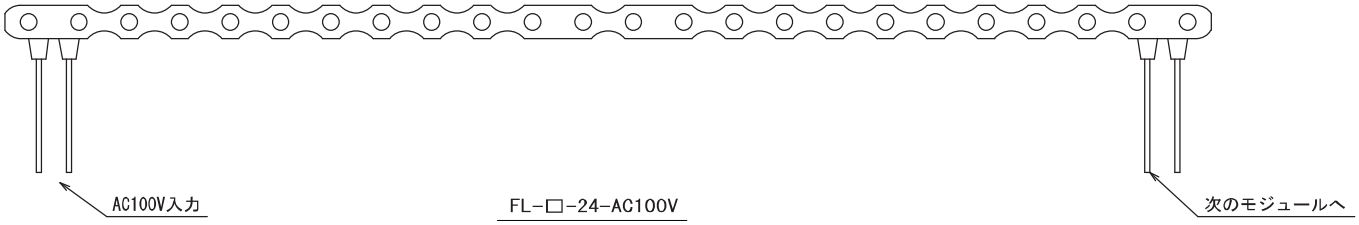
Toyora

【製品説明】

≪FL-□24-AC100Vシリーズの取扱いについて≫

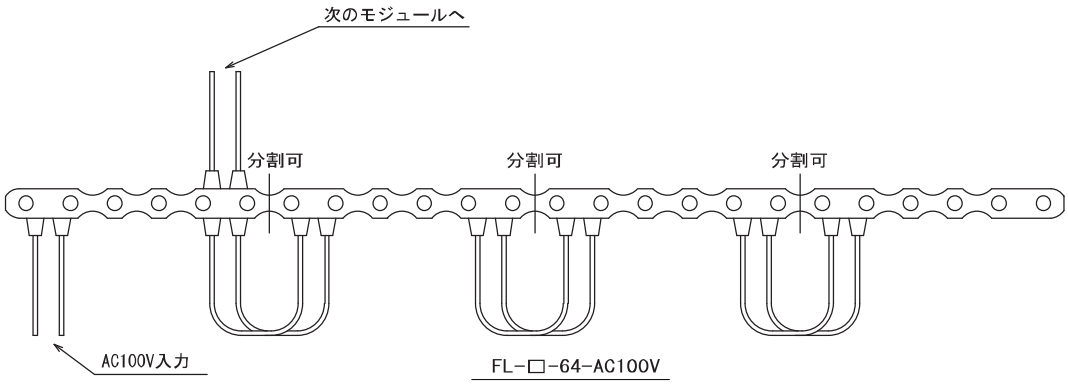
・モジュール1本(LED24個)は途中でカットして使用することはできません

※途中でカットすると故障します



≪FL-□64-AC100Vシリーズの取扱いについて≫

・モジュールを4分割に切断可能ですが、配線の切断は不可です



1 モジュールの取付

・接着剤又はロッキングサポート(FL-□)にて取り付けます(画1-1、 1-2)

推 推奨接着剤 ≪メーカー:ヘンケルジャパン　型式:LOCTITE PRISM 401≫

※ロッキングサポートは接着剤又はM4ビス、両面テープにて取付して下さい

画1-1

★曲線部分の配置には曲げる角度に制限がありますので注意してください

注1)最大に曲げた時の限界角度です(画1-3)

注2)急激な角度で曲げると内部配線が切断します(画1-4)

注3)曲げる回数は最小限にしてください、何度も曲げると内部配線が切断します

注4)入力、出力線には、あまり負荷をあたえないで下さい。

画1-2

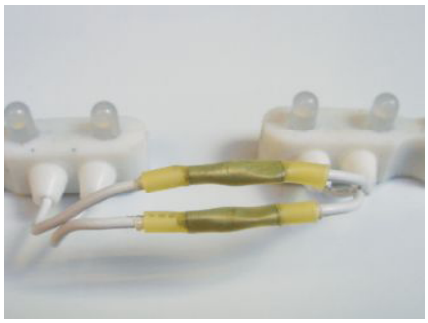
画1-3

画1-4

2 モジュールの結線

・FL-□24-AC100V、FL-□64-AC100Vの最大接続数は20本です
・モジュールの接続結線は防水、絶縁処理を行ってください(画2-1)

推 推奨防水スリーブ ≪メーカー:ニチフ 型式:SB2218≫



画2-1

3 総W数計算

＜基本計算＞
モジュール1本のW数×使用本数＝総W数
(例)FL-R24-AC100Vを100個使用した場合 (表3-1参照)

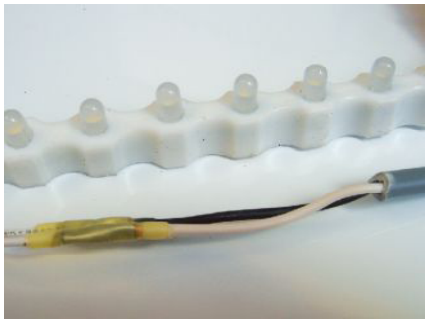
1.3W×100本=130W

型式	モジュール1本	型式	モジュール1本
FL-R24-AC100V	1.3W	FL-R64-AC100V	1.3W
FL-O24-AC100V	1.3W	FL-O64-AC100V	1.3W
FL-Y24-AC100V	2W	FL-Y64-AC100V	2W
FL-G24-AC100V	2W	FL-G64-AC100V	2W
FL-B24-AC100V	2W	FL-B64-AC100V	2W
FL-W24-AC100V	2W	FL-W64-AC100V	2W
FL-D24-AC100V	2W	FL-D64-AC100V	2W

表3-1

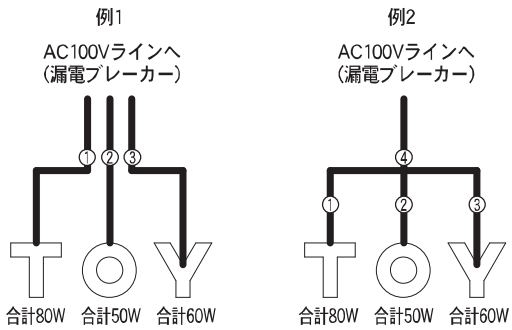
3 モジュールとAC100Vの配線接続

・モジュールからAC100Vまでの配線を接続します
・モジュールの線とAC電源ラインまでの線の接続は防水、絶縁処理を行ってください(画4-1)



画4-1

【配線例】各文字からAC100Vラインまでの配線例



1文字の総W合計	電線種類
100W以下	VCTF 1.25sq 2芯
150W以下	VCTF 2.0sq 2芯
250W以下	VCTF 3.5sq 2芯
350W以下	VCTF 5.0sq 2芯

表4-1

【配線選定例】
各文字からAC100Vラインまでの 線の選定(表4-1照)
①は『T』文字合計は80W＝VCTF 1.25sq 2芯
②は『O』文字合計は50W＝VCTF 1.25sq 2芯
③は『Y』文字合計は60W＝VCTF 1.25sq 2芯
④は①+②+③+の合計190W＝VCTF 3.5sq2芯
※チャンネル文字から　　AC100Vラインの間には保護装置(漏電ブレーカーを必ず設置してください)

安全にご使用して頂くための注意事項

⚠ 使用環境・使用条件

1. 器具の取り付け、施工は、正しく行ってください。
   誤った取り付け、使用をすると火災・感電・落下などの原因になります。

2. 表示された電源電圧（定格電圧±10%）以外の電圧で使用しないでください。
   故障・火災・感電の原因になります。

3. 周囲温度-20℃～50℃、湿度 85% 以上の環境では使用しないでください。
   この範囲を超えると器具の火災・落下・変色・変形・点灯不良の原因になります。

4. 振動・衝撃・粉じん・腐食性ガス・可燃性ガスの影響を受ける場所では使用できません。
   故障・火災・感電・落下などの原因になります。

5. 塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。
   早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障などの原因になります。

6. 特殊な用途（乗り物用・医療用・写真撮影用・信号灯用など）には使用できません。
   誤って使用しますと、火災・感電・ノイズによる事故・落下などの原因になります。

7. 屋内使用器具ですので、屋外の雨水が直接当る場所での使用はできません。
   選定を誤りますと、故障・火災・感電・落下などの原因になります。

⚠ 設置・施工

1. 器具の取り付け工事には、専用電気工事が必要となります。
   必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。
   一般の方の電気工事は法律で禁止されています。火災・感電などの原因になります。

2. 器具を取り付ける場所が、器具重量に耐えるかどうか確認してください。
   強度が不足していますと、火災・感電・落下の原因になります。

3. 火気の近くには設置しないでください。
   近づきすぎると火災・落下・点灯不良などの原因になります。

4. 冷暖房機器の吹出し口付近には設置しないでください。
   振動や温湿度の急激な変化により、落下・点灯不良の原因になります。

5. 器具を改造したり部品を追加・変更して使用しないでください。
   故障・火災・感電・落下の原因になります。